

② 南アメリカ大陸

1	空中都市の段々畑		インカの人々の英知と労力で築かれた段々畑にはイモやトウモロコシが栽培された。	ペルー
2	チチカカ湖の家		ペルーからボリビアにかけて標高3400メートルのところにチチカカ湖にトトラ(葦の一種)だけで作られた浮島と家とトトラの船がある。環境に優しい暮らし方である。	
3	都会の片隅に貧困層		南米諸国は経済的に貧困だ。アルゼンチン・ブエノスアイレスはこの国の首都であるが、都市には貧困層が増加している。	
4	物乞いする母親		ペルー・クスコはインカ帝国時代の首都。観光客は必ず訪れる地である。他の南米諸国と同様に経済的に貧しい人々が多い。	
5	森林火災の跡(アルゼンチン)		パタゴニアは南極大陸から常に強風が吹く「風の大地」である。火の不始末と乾燥気候と強風があれば森林火災が発生する。火災の跡は砂漠化していく。	パタゴニア (アルゼンチン・チリ)
6	飛べない貴重な鳥		パタゴニアに生息するダーインレアは、脚は早いが飛べない。一時期絶滅の危機にあったが現在は保護されている。	
7	絶滅の危機を迎えた動物		人間の乱獲で絶滅の危機を迎えた「グアナコ」(ラクダ科の一種)は生息地も限られている。日本も一時期この動物の毛皮を防寒用にするために捕獲した。現在は保護されている。	
8	モレノ氷河の末端部		高さ60メートル~80メートルの氷壁の末端の水面下には、この3倍の氷塊が隠れている。崩壊寸前の割れ目は刻々と変化する。	
9	氷河の割れ目		モレノ氷河の上流まで大きな割れ目(クレパス)が幾つも出来ている。この氷河は地球温暖化の一つの指標となっている。	

10	氷河湖が大きくなった		パタゴニアの氷河の末端部に氷河湖が出来ている。氷河が溶け出して流水と土砂を運び、土砂が堆積した堤から水が溢れ出そうだ。
----	------------	---	---